

三十周年

東京柏葉会

記念誌



目 次

校訓	03
ご挨拶	04-05
理事・役員一覧	07
10 年の歩み	08-09
講演会・恩師招待情報	10-11
総会懇親会写真	12-15
七夕短冊紹介	16-17
回生別懇親会写真	18-19
個人寄稿文	20-29
皆様からの寄せ書き	30-35
東京柏葉会賞の歩み	36
ゴルフ同好会のご紹介	38
ホームページと SNS のご紹介	40
会則	41
会員名簿	42-55
母校写真・佐世保情報	56-59

春秋に三葉霜
柏の緑風かきり



昭和 54 年頃の南高校



昭和 44 年頃の南高校

校訓

和敬禮節
自彊自律

相川朋子 (31 回生)

大東文化大学 1983 年卒、2019 年より佐世保南高校勤務

現在、聖和女子学院・佐世保美容専門学校・ウィルドウ等で書道講師の仕事を兼務中

ご挨拶 設立 30 周年を迎えて

東京柏葉会会長 池田 康人（21 回生）



東京柏葉会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
30 周年を迎え、一言ご挨拶申し上げます。諸先輩のご尽力により東京柏葉会が平成 3 年 1 月に設立されて 30 年の月日が経過いたしました。

本来ならば令和 2 年（2020 年）が 30 周年にあたる年ではありましたが、世界を揺るがす新型コロナウィルス感染問題の影響で記念総会の延期や記念誌発行が遅れましたことを改めてお詫び申し上げます。

2018 年に浦松敏和前会長（17 回生・故人）から第 5 代会長としてバトンを引き継ぎましたが、大変残念なことにコロナ禍のこの 3 年間は従来規模での総会・懇親会をやむなく延期・中止させていただきました。ただ、その間も会員の皆様から年会費納入や東京柏葉会賞賛助金のご協力を賜り、会の運営を継続出来ております事、重ねて御礼を申し上げます。

本年 3 月、母校では 75 回生が卒業式を迎え同窓会（柏葉会）への入会をいたしました。この歴史と伝統ある佐世保南高校の東京同窓会は、各世代の会員、歴代の役員・年次幹事の皆様の途切れる事のない活動と母校愛に支えられてこの 30 年を強い絆で繋いでくることが出来ました。今回、30 周年記念誌を発行するにあたり、ご祝辞や思い出の寄稿をお寄せ頂きました皆様、編集作業を担当頂きました方々へ心より御礼申し上げます。

最後になりますが、今後も東京柏葉会へご参加いただき、母校やふるさと佐世保について世代を超えて楽しく語り合えることを願っております。役員一同で東京柏葉会をさらに楽しく良いものにするべく努めて参ります。

引き続きのご指導とお支援を賜りますようお願い申し上げます。

価値ある東京柏葉会 30 年の歩み

柏葉会会長 馬郡 謙一（23 回生）



創立 30 周年本部会員一同心よりお祝い申し上げます。
また今日まで企画運営にご尽力されました役員をはじめ関係各位に心より敬意とお労いを申し上げます。

初めて東京柏葉会総会に参加した時の衝撃は今でも鮮明に覚えています。心温まる受付の方々の笑顔の歓迎、終始変わらぬ和気あいあいの進行と大きな懇親の輪、大先輩方との語らい、現役学生への壇上での紹介と挨拶等とても暖かい接遇に感激いたしました。

一方準備、動員等のご苦労は如何ばかりかとスタッフの方々に驚くばかりでした。

又母校に対するお心遣いもいただき「東京柏葉会賞」など物心両面でご尽力いただいています。
時代は変われども佐世保南高の「自彊自律・和敬禮節」の精神は、学生数は少なくなりましたが脈々と受け継がれています。

校門を入りますと「こんにちは」とすべての在校生が挨拶をします。

先輩として清々しい心地よさを感じる事が出来嬉しい瞬間です。

東京柏葉会をはじめ関西、福岡の各柏葉会と共に佐世保南高の大きな輪と絆を確固たるものに築き上げ、各地に出向きます後輩達の受け皿になるよう期待いたします。

そのリーダー的存在の東京柏葉会には今後益々母校の発展はもとより同窓の仲間へのご支援にもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

30 周年を機に東京柏葉会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

「東京柏葉会設立 30 周年記念誌」発行にかかる朝長前市長寄稿

佐世保市長 朝長 則男（19 回生）

東京柏葉会が設立 30 周年という記念すべき年を迎えられ、同窓会のさらなる発展の礎とすべく、このたび記念誌を発行されますことを心からお祝い申し上げます。

東京柏葉会の皆様方には、佐世保南高等学校の発展に対し、温かいご支援をいただくとともに、ふるさと佐世保市に対しましても、ふるさと情報の発信をはじめ、さまざまな形で郷土の発展に多大なるご尽力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

皆さまは、共に学ばれた母校 佐世保南高等学校の校訓である「自彊自律」「和敬礼節」の精神と、同窓という誇りをもって、故郷を離れそれぞれの道を切り拓いておられます。そのご活躍は、次世代を担う仲間を育てる心強い後ろ盾として、また、首都圏で活躍したいと望む方々にとっても大きな安心感につながっているものであります。

私は、市民の皆さまの温かいご支援とご指導を賜りながら平成 19 年から 4 期 16 年務めさせていただいた佐世保市長を、今期 4 月 29 日をもって退任することといたしました。

ただひたすら全力投球で市政運営に取り組み、市長という重責を支えたのは「佐世保が大好きだ」という思いでした。この佐世保への思いは、遠く古里を離れ各地でご活躍されている東京柏葉会の皆さまと同じであるものと思います。

このたび 30 周年記念誌を発行されるにあたり、佐世保への思いを皆さまと共にできますことをうれしく思いますとともに、ごあいさつの機会をいただきましたことに御礼申し上げます。

結びに、設立 30 周年を新たな契機として、池田会長様を中心に、役員ならびに会員の皆さま方の絆がより一層深まり、さらなる飛躍を遂げられますことを心から祈念いたしますとともに、これからも東京から佐世保へ熱いエールを賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 3 月吉日



東京柏葉会 30 周年記念誌発刊によせて

長崎県立佐世保南高等学校
校長 古賀 巖

まずは東京柏葉会 30 周年記念誌の発刊に対し、心からお喜び申し上げますとともに、日頃より母校並びに後輩への物心両面でのご支援に対しお礼申し上げます。

コロナの影響から 2 年遅れとなりましたが、平成 2 年 1 月、東京目白の「椿山荘」で 300 名を超える先輩方が集まり盛大な設立総会を開催して 32 年。この記念誌発刊は、佐世保南高を卒業してふるさと佐世保を離れ、遠く関東の地でご活躍されている諸先輩方の母校に対する思いが形になったものだと思っております。高校時代はたった 3 年間ですが、人生の中で大きな意味を持つ 3 年間でもあります。その青春といわれる短い期間に出会った人は一生の友となり、またその後の進路は人生に大きな影響を与えるものです。歳は違えど、同じ母校で青春の 3 年を過ごしたという繋がりは、年齢を重ねるごとに何物にも代えがたいものだと感じております。

南高は令和 5 年度から、地域はもとより日本や世界で活躍する人材の育成に向けた新たな学科「文理探究科」を新設いたします。これまで多くの先輩方が培われてきた南高の伝統を守りながらも、新たな時代に向けた一歩を踏み出すために、職員生徒一丸となって研鑽に励んでまいります。「校風ここに、いや増さん」。今後とも母校、後輩へのご指導、ご協力をよろしく申し上げます。

最後になりましたが、東京柏葉会のますますの発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げます。



想 馳
を

私たちが
通った
いふ学び舎
で
たくさん
物語は
生まれた


年次幹事一覧

回生	卒年	年次幹事	回生	卒年	年次幹事	回生	卒年	年次幹事
1	(S24)	未定	18	(S41)	石上 美知代(田坂)	32	(S55)	自見 信也
2	(S25)	未定	19	(S42)	原田 泳幸			豊村 浩之
3	(S26)	辻川 寿之			楠本 悟	33	(S56)	川口 尊明
4	(S27)	未定			中田 章			寺園 隆治
5	(S28)	未定			石田 久代(加々良)			山崎 昭人
6	(S29)	松永 康男	20	(S43)	山口 忠保	34	(S57)	大久保 充
		国吉 房雄			木暮 啓子(村川)			岩戸 玲子(上村)
7	(S30)	原岡 笙子	21	(S44)	池田 康人	35	(S58)	未定
8	(S31)	豊浦 隆彦			前山 廣司	36	(S59)	森 優貴
9	(S32)	吉田 牧男	22	(S45)	山田 謙二			川口 克彦
		福田 寿	23	(S46)	平 伊佐夫			古川 まゆみ
		山崎 雅恵(岡部)			埴淵 智子(山口)			青木 和代(行田)
10	(S33)	有田 紀郎	24	(S47)	三村 伸之			水井 美和子(小川)
		古市 智彦			川本 利孝	37	(S60)	中山 芳克
11	(S34)	岡本 眞澄	25	(S48)	山口 啓太			茨木 久美子(渡邊)
		後藤 佳代子(坂本)			黒川 小夜子(浦川)			森 奈緒子(久住呂)
12	(S35)	馬場 徹也	26	(S49)	緒方 千草(江原)	38	(S61)	伊原 寛隆
		岩崎 悦子(牧山)	27	(S50)	長谷川 良裕	39	(S62)	伏原 朋宏
13	(S36)	大野 知彦			毛利 政美	40	(S63)	中尾 和美
		中村 和征			円田 真由美(佐崎)			藤田 徹
14	(S37)	吉田 照子(宮地)	28	(S51)	濱本 茂幸			斎藤 雅洋
15	(S38)	今村 勝義	29	(S52)	藤井 昭宏	41	(H1)	山村 紀一郎
		宮内 伶			長岡 健	42	(H2)	未定
		杉崎 美保子(田中)	30	(S53)	柘田 朗	43	(H3)	未定
16	(S39)	松本 和子(中野)			窪田 久恵(矢崎)	44	(H4)	須藤 菜穂子
		鋸屋 八重子(竹村)	31	(S54)	山村 満博	56	(H16)	岡田 智恵
		関口 優子(中村)			大滝 理恵子(北岡)			
17	(S40)	長野 康典			八並 真由美			
		服部 美佐江(浦)			大場 浩子(中川)			
18	(S41)	島村 哲朗			芹川 美由紀(古賀)			

役員体制と委員会・部会(2023年4月末現在)

会 長	池田 康人	(21回生)		顧 問	吉田 牧男	(9回生)
副会長	今村 勝義	(15回生)	(総務担当)	参 与	豊浦 隆彦	(8回生)
副会長	原田 泳幸	(19回生)		参 与	馬場 徹也	(12回生)
副会長	平 伊佐夫	(23回生)	(総会担当)			
副会長	緒方 千草	(26回生)	(広報担当)	広報委員会	今村 勝義	(15回生)
副会長	大滝 理恵子	(31回生)	(会計担当)		池田 康人	(21回生)
副会長	(兼任)池田 康人	(21回生)	(HP担当)		緒方 千草	(26回生)
副会長	中山 芳克	(37回生)	(会員開発担当)		山村 満博	(31回生)
幹事長	川口 尊明	(33回生)		HP部会	森田 忠久	(9回生)
副幹事長	古川 まゆみ	(36回生)			馬場 徹也	(12回生)
副幹事長	中尾 和美	(40回生)			池田 康人	(21回生)
副幹事長	山村 紀一郎	(41回生)			力武 晃	(23回生)
事務局長	(兼任)緒方 千草	(26回生)				
副事務局長	齋藤 雅洋	(40回生)				
監 事	前山 廣司	(21回生)				
会 計	八並 真由美	(31回生)				



校章の由来

校章の柏の葉は
節操堅持の精神を象徴し、
Mは南高校の頭文字を
表現している。

活動報告

東京柏葉会は、1991年1月に発足し、1月26日に結成総会が開催されました。

初代会長は山本憲次（4回生）、会員数300名からスタートし、その後毎年総会が開催され、1997年からは親睦ゴルフ大会も恒例行事となり、現在では会員数は1800名を誇るまでに拡大・発展しております。

主な活動内容としては、毎年の総会・懇親会開催に向け役員会、幹事（旧理事）会での協議や準備、東京柏葉会賞授与、会員情報の更新・管理となります。

会員の皆様への各種情報発信のため、2017年7月に公式ホームページをリニューアル、2021年5月には公式facebook、公式Instagramも公開しております。

また、会則も適宜見直し、2022年は会をより身近に感じていただけてご参加できるように、各回生のとりまとめ役である『理事』を『年次幹事』に名称変更し、年次幹事の方が中心となり同級生の輪がより広がることを期待しています。

本会もこれまでの歩みを受け継ぎながらも、若い回生の方も意見もお聞きし、各世代間の交流や連携を深めるような新しい取り組みも開始していく所存です。

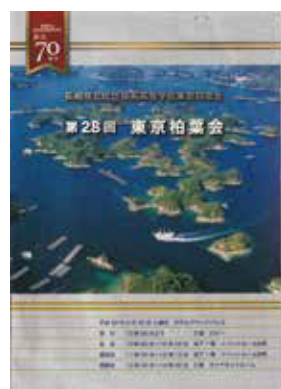
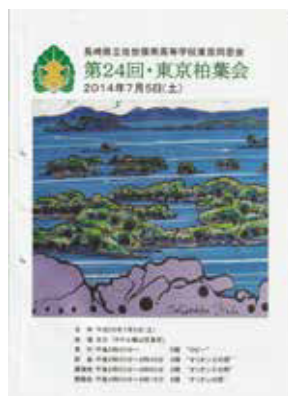
引き続き、本会の発展にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以下、これまでの総会・懇親会風景やプログラムで過去を振り返ります。

幹事長 川口 尊明（33回生）

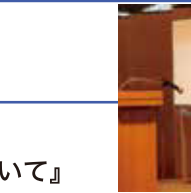
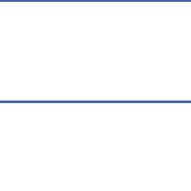
- 2010年** 7月10日 第20回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル椿山荘東京）
講演会：原田泳幸（19回生）テーマ「マクドナルドの経営改革」
恩師招待：長嶺洋先生（英語）、合野謙吉郎先生（保健体育）、横山梯志先生（英語）
10月6日 第15回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 八千代カントリークラブ 27名参加
- 2011年** 7月9日 第21回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル椿山荘東京）
講演会：山野内勘二（29回生）テーマ「元気を出そう」
恩師招待：樋渡憲三先生（音楽）、北島出先生（保健体育）
10月5日 第16回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 八千代カントリークラブ 29名参加
- 2012年** 7月7日 第22回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル椿山荘東京）
講演会：今泉俊文（23回生）テーマ「大震災に思うこと」
恩師招待：馬場忍先生（美術）、福江正人先生（国語）、稲澤嘉孝先生（書道）
10月10日 第17回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 八千代カントリークラブ 24名参加
- 2013年** 6月29日 第23回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル椿山荘東京）
講演会：壇浦逸克（14回生）テーマ「中国救出作戦の御礼と水電池「柏葉」の開発について」
恩師招待（ビデオレター）：安達典久先生（社会）、今里忍先生（保健体育）、森直先生（理科）、江口眞佐子先生（国語）
10月10日 第18回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 総武カントリークラブ印旛コース 39名参加
- 2014年** 7月5日 第24回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル椿山荘東京）
講演会：酒井重典（13回生）テーマ「天気予報の今と昔、そして将来。南極基地での越冬体験から」
恩師招待（ビデオレター）：原崎孝先生（体育）、友川靖司先生（数学）、河村英男先生（英語）
10月10日 第19回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 総武カントリークラブ印旛コース 37名参加
- 2015年** 7月5日 第25回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテル 椿山荘東京）
講演会：宮内伶（15回生）テーマ「豊かな時代のガーデニング生活」
恩師招待（ビデオレター）：藤原善行先生（校長）、豊崎萬吉先生（国語）、後藤雅章先生（国語）、内山茂先生（世界史）、大串昌信先生（数学）
10月9日 第20回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 総武カントリークラブ印旛コース 28名参加
- 2016年** 6月25日 第26回東京柏葉会総会・懇親会開催（※会場をホテルグランドパレスに変更）
講演会：関戸俊英（22回生）テーマ「日本生まれの「炭素繊維」とその用途展開について」
10月7日 第21回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 リバーサイドフェニックスGC 24名参加

- 2017年** 6月24日 第27回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテルグランドパレス）
講演会：野田照美（27回生）テーマ「ドバーバばあ 織姫たちの挑戦」
講演会：黒田大介（37回生）テーマ「プロカメラマンの世界」
10月5日 第22回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 リバーサイドフェニックスGC 30名参加
- 2018年** 6月30日 第28回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテルグランドパレス）
講演会：永山雄二（28回生）テーマ「放射線の話、長崎でやっていることを紹介します」
10月10日 第23回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 リバーサイドフェニックスGC 28名参加
- 2019年** 6月30日 第29回東京柏葉会総会・懇親会開催（於 ホテルグランドパレス）
【会長が浦松敏和（17回生）から池田康人（21回生）に交代】
講演会：三遊亭らっ好（61回生）『落語 独演会』
10月9日 第24回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 リバーサイドフェニックスGC 20名参加
- 2020年** 6月27日 新型コロナウイルス感染症問題により総会・懇親会開催延期、ゴルフコンペ中止
- 2021年** 6月26日 新型コロナウイルス感染症問題が終息せず、総会・懇親会開催を再延期
10月8日 第25回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 リバーサイドフェニックスGC 16名参加
- 2022年** 7月23日 第30回東京柏葉会総会開催（※会場をリーガロイヤルホテル東京に変更）
【新型コロナウイルス感染症問題対応のためハイブリッド（会場及びリモート）開催】
開催規模の縮小と飲食及び懇親会やイベント無しで総会と長寿の祝い主体で開催
10月22日 第26回東京柏葉会ゴルフコンペ 於 大宮国際カントリークラブ 14名参加



講演会開催歴

他校にない独自の取り組みとして、2000年から卒業生による講演会が始まりました。

第10回 2000年 平成12年	19回生 原田 泳幸 「グローバル化の流れの中で」		
第11回 2001年 平成13年	19回生 金子 成人 「ドラマづくりの背景」		
第12回 2002年 平成14年	12回生 前畑 英介 (三井記念病院 中央検査部 医学博士) 「健康な生活を維持するためには」		
第13回 2003年 平成15年	27回生 原 英次郎 「キーワードで読む日本経済」		
第14回 2004年 平成16年	17回生 松園 俊志 「温泉の楽しみ方と温泉法の問題点」		
第15回 2005年 平成17年	13回生 小池 寛治 「日本外交と私の体験ー佐世保南高からオランダ大使までー」		
第16回 2006年 平成18年	18回生 石上 美知代 『「夜も昼も」ー 立ち直りを信じて』		
第17回 2007年 平成19年	7回生 原岡 笙子 「英語をリズムで楽しくマスターしよう」		
第18回 2008年 平成20年	23回生 海老原 靖芳 『南高に「笑いの原点」があった』		
第19回 2009年 平成21年	31回生 津田 堅之助 「中国・ネパール・エクアドル野生動物と夢を追いかけて」		
第20回 2010年 平成22年	19回生 原田 泳幸 「マクドナルドの経営計画」		
第21回 2011年 平成23年	29回生 山野内 勘二 「元気を出そう」		
第22回 2012年 平成24年	23回生 今泉 俊文 「大震災に思うこと」		
第23回 2013年 平成25年	14回生 檀浦 逸克 『中国救出作戦に携わってくれた方々への御礼と水電池「柏葉」の開発について』		
第24回 2014年 平成26年	13回生 酒井 重典 「天気予報の今と昔、そして将来。南極基地での越冬体験から」		
第25回 2015年 平成27年	15回生 宮内 伶 「豊かな時代のガーデニング生活」		
第26回 2016年 平成28年	22回生 関戸 俊英 『日本生まれの「炭素繊維」とその用途展開について』		
第27回 2017年 平成29年	27・37回生 野田照美・黒田大介 「ドーバーばあ織姫たちの挑戦」・「プロカメラマンの世界」		
第28回 2018年 平成30年	28回生 永山 雄二 「放射線の話 長崎でやっていること紹介します」		
第29回 2019年 令和 元年	61回生 三遊亭 らっ好 (井芹洋平) 独演会		

東京柏葉会恩師招待明細（敬称略）

恩師の招待は 2003 年から 2015 年まで続きました。（23 回から 25 回はビデオレター）

			①		②		③		④	
			恩師名	教科	恩師名	教科	恩師名	教科	恩師名	教科
平成15年	(第13回)	2003年	枘田 洋吉	国語	長嶺 洋	英語				
平成16年	(第14回)	2004年	稲澤 嘉孝	書道	北島 出	保健体育	信國 和彦	世界史		
平成17年	(第15回)	2005年	榮岩 吉郎	物理・校長	平田 文夫	保健体育	後藤 栄一郎	英語	福江 正人	国語
平成18年	(第16回)	2006年	宮崎 友千代	国語	近藤 昭忠	世界史	江口 眞佐子	国語	松尾 善久	保健体育
平成19年	(第17回)	2007年	山口 淳二	数学	橋山 良男	商業他	横山 悌志	英語		
平成20年	(第18回)	2008年	野中 稀平	数学	友川 靖司	国語	今村 征賀	世界史		
平成21年	(第19回)	2009年	吉田 六吉	数学	松尾 義嗣	地理				
平成22年	(第20回)	2010年	長嶺 洋	英語	合野 謙吉郎	保健体育	横山 悌志	英語		
平成23年	(第21回)	2011年	北島 出	保健体育	樋渡 憲三	音楽				
平成24年	(第22回)	2012年	稲澤 嘉孝	書道	福江正人	国語	馬場 忍	美術		
平成25年	(第23回)	2013年	安達 典久	社会	今里 忍	保健体育	森 直	理科	江口 眞佐子	国語
平成26年	(第24回)	2014年	原崎 孝	保健体育	友川 靖司	数学	河村 英男	英語		
平成27年	(第25回)	2015年	藤原 善行	校長	豊崎 萬吉	国語	後藤 雅章	国語	内山 茂	世界史
	同上		大串 昌信	数学						



13回 枘田洋吉先生
長嶺洋先生



14回 稲澤嘉孝先生
北島出先生
信國和彦先生



15回 福江正人先生 後藤栄一郎先生
平田文夫先生 榮岩吉郎先生



16回 宮崎友千代先生



16回 近藤昭忠先生



16回 江口眞佐子先生



16回 松尾善久先生



17回 橋山良男先生



17回 山口淳二先生



18回 野中稀平先生



18回 今村征賀先生



18回 友川靖司先生



19回 吉田六吉先生



19回 松尾義嗣先生



20回 横山悌志先生



20回 合野謙吉郎先生



20回 長嶺洋先生



21回 樋渡憲三先生



21回 北島出先生



22回 稲澤嘉孝先生



22回 馬場忍先生



22回 福江正人先生



23回 安達典久先生



23回 江口眞佐子様



23回 今里忍先生



23回 森直先生



24回 河村英男先生



24回 原崎孝先生



24回 友川靖司先生



25回 大串昌信先生



25回 藤原善行先生



25回 内山茂先生



25回 豊崎萬吉先生



25回 後藤雅章先生

第20回～29回の総会・懇親会写真

毎年、多数の方にご参加いただき、校歌斉唱、長寿のお祝い、福引大会等、様々なイベントで大変盛り上がります。

第20回



第21回











★懇親会で皆さんに書いていただいた短冊のご紹介★

七夕の直前に開催されることから 2012 年からさまざまな願いを込めた七夕飾りを始めました



家内安全
健康第一

(4)

みなさまが健康で
幸せな一年でありますように
31回生セリカ

純子さん 安らぎに
今年も来ました。

ハッピーカムカム

ヤマダマツキイタ

G 20の大成功

23回 平伊他夫

相葉会不肖子
豊田隆彦

生涯現役！

36回生 川口克彦

早寝早起き朝ごはん

11回生 川口

これから元気で
若々しくいられます
ように！ 幸代

えええええ

16回生 松本和子

いつも元気な
おもしろく遊ばすように
15回生 杉崎美保子

宝くじ あたりたのいね
家族健康なうきうき
36回生 青木和代

はげないうちに中山千蔵

子ども達が
生まやすい世の中に
17回生 長野康典

健康と幸せの人生を

はなさんと会えすね

10回生 富田

猛暑にも
笑顔です

相葉会

20回生 山本保

20回生 健康とあつたを
つづけていこう
20回生 山本保

20年 ニューウオフス

設立 奥野由大

今更とがらうした
元気を生みます

南九会 野村雄

10回生 東京で60年
元気に頑張ります コカ

元気で
すくすくするに
18回生 中崎孝子

これから東京相葉会
そして相葉会へ参ります
願っています 23回生 立花

南高バレー部
県大会優勝を再び

来年も会えますように

世界の平和と新し
い時代

熊木が元気に帰りますように
平

皆が健康で幸せに
暮らせるように

在校生の頑張りを
祈ります

15回生 柏谷美生

15回生 倫理です
また元気に頑張ります

家族全員健康でありますように
14回生 杉崎美保子

16回生 杉崎美保子
おめでとうございます

64回生 木村天
過剰にならない

パイロットになる
70回生 植地雅彦

☆ 南高バレー部
元気でいこうね!!
南高バレー部

田ノ上くんがやめますように

いっしょに頑張る
南高健児の絆を心に
若さ

操がよすすように

15回生 青田雄三

いよいよ老人の時代

元気でがんばり

25回生 黒川小夜子

ゴルフが上手で
10回生 杉崎美保子

好きにさせてヨ。
18回 KENY

母校の益々の発展を!
38回生 伊原寛隆

家族みんなが健康でありますように
(主人と私の病気が治りますように) 若さ

元気でまた来年も
平和な世に
31回生 中崎孝子

☆ 杉崎美保子
16回生 杉崎美保子

メロンを食べてみたいで
18回生 尾崎康太郎

柏葉水電池が売れるように
14回生 植地雅彦

ボケないように毎日を楽しくしますように
27回生 内田

15回生 杉崎美保子

みな様の夢が叶いますように
そして相葉会がいつも元気なように
15回生 杉崎美保子

第 25 回（平成 27 年 2015 年）



懇親会時の回生毎写真





我が人生

4 回生 友廣幹夫

72年前、時は太平洋戦争が終り朝鮮戦争の最中、学制改革により私は24年に開校が許可されたばかりの南校へ翌25年に転向し卓球部に入部しました。

日宇と白南風の校舎での練習、26年高体連長崎県大会で鎮西高校と対戦して優勝。続いて全国大会出場（名古屋）。初戦が優勝校名古屋と対戦し、敗退。上京後も卓球を続けていたことで、東京連盟一部に加盟し、理事として39年の東京オリンピックの企画にも携わることが出来ました。

個人でも千代田区、文京区、北区、板橋区、豊島区、練馬区でチャンピオンになりました。その後製薬会社アップジョン営業統括部長（ワクチンで有名なファイザーと合併）に就任。41年に転勤。そこからはゴルフに。群馬、千葉、茨城、栃木、埼玉の各県でチャンピオンになり、アルバトロス1回、ホールインワン4回。今回柏葉会25回

大会にて後輩から母校に戦績の記録がないと知らされたことがきっかけとなり、30周年記念誌発行に推薦頂き、私の人生を皆様知って頂く機会を嬉しく思っております。柏葉会の益々のご発展を祈念いたします。新潟紫雲ゴルフ場、出場者100名の大会で気持ちよく打ったティーショットが雀に命中してびっくりしました。

東京柏葉会創設の思い出と図書寄付金について

6回生 松永 康男

先ずは、創立30周年記念誌発行、心からお祝い申し上げます。東京佐世保会が開催される毎に、北高、商業、工業、西海学園高には東京に同窓会があり。大勢の卒業生が集まっていた。

しかし、南高卒出身は極端に少ない。それは南高には東京関東地区に同窓会が存在せず、従って、名簿が無い。これでは出席を呼びかけることが出来なかった。

当時、東京佐世保事務所の所長であった本田克彦（11回生）さんから、「先輩！！東京に南高校の同窓会を作して下さい。」と強い要望があった。名門、旧制佐世保中学を引継ぎ南高校になった経緯を考えると、同窓会が存在しないのが不思議なことで、東京に同窓会を早急に設立する必要があると考えた。

東京同窓会を設立する意図を卒業生仲間に声をかけて回った。

平成2年1月16日、東京は目白の「椿山荘」に男性180名、女性120名 合計300名の参加者があり、盛大な同窓会の誕生となりました。それ以来、関東在住、皆様の母校愛に支えられ、現在の隆盛になり、心から嬉しく、又、今後の発展に期待しています。

（図書寄附について）

私は経済的に恵まれない境遇の貧乏学生であったので、殆どの教科書はアルバイトをして買い、本は図書館で借りて読んだ。私と同じ境遇の学生や図書館利用者に、少しでも役に立てたらと、図書を寄付しました。感謝状を戴いて有難く思っています。

ともあれ、現在は、読み書きより、見る、聞くの、時代になっていきますが、高校時代は本をたくさん読み、思考力、判断力、構想力、決断力等の栄養を身に付けることだと信じます。少しでもお役に立てば幸甚です。





東京柏葉会との出会い

9 回生 山崎雅恵

東京柏葉会との出会いは同期の吉田牧男さんに誘われての事です。吉田さんが会長になるにあたり、会の事務方を依頼されました。先輩諸氏の指導や同期・後輩の助言をいただき大過なく務め、次の後輩の方に引継ぐことが出来たのは今村幹事長の助けがあったからと感謝しています。

理事会では弁当の数が足りない折には 12 回生の岩崎さんと半分して食べたのも良い思い出です。

総会には 7 回生の兄や 12 回生の弟と連絡し出席して会っていました。同期（九回生）の協力も多く絆も強く、新年会・忘年会・花見・ゴルフコンペ・パソコン教室と、得意とする方が指導して開催していました。最近はコロナ禍にて多勢で集まれないのでと船越さんの発案で zoom によりお互いの近況を報告し会話を楽しんでいます。

東京柏葉会は縦の繋がりもしっかりできており後輩の方々の活躍が頼もしく色々な会合にて皆様にお会いできるのが楽しみです。

南高卒業し 66 年

9 回生 船越正憲（東京南九会幹事長）

第 11 回東京柏葉会総会で同期吉田君が会長に就任し総会出席九回生も増え第 28 回総会の傘寿祝に 17 名出席した。

私的には 12 回生馬場氏の協力で弟小池寛治講演の際、弟 16 回小池泰男に姫路在住 13 回妹も出席全兄妹が揃った。第 30 回総会に傘寿寛治と私が出席、妹と末弟もリモート参加しました。

東京南九会は、当時の吉田会長が 2019 年迄確保した田町事務所で定期会合やパソコン教室も開催、独自ハンドのゴルフ南球会は昭和 62 年～平成末毎年続いた。

卒業 40 周年以来 e メール同好会が一時 20 名を超え、2008 年に発足したメール連絡網は 34 名に配信中。コロナ禍も総会・忘年会は続け zoom も併用。

私は雨天以外毎日 8 千歩、月 1 ゴルフでフレイルを予防中です。



船越 藤本 森田 草場 小堀 福田 丸田 梅澤 野口 土橋 西川 武富
木村 野口 山崎 野田 吉田 鈴木 井戸 千葉 濱野 金子
古川 武田



東京柏葉会ゴルフの楽しみ

9 回生 福田 寿

東京柏葉会30周年本当におめでとう御座います。思い起こしますに平成3から4年頃銀座での会議、佐世保弁丸出しの話し合い懐かしく思い出されます。それから5年後吉田氏（7回生）それに小生今は亡き真田会長から「ひとつゴルフでもどうか？」お互い楽しみながら親睦を深めようということで結成されました。いよいよ1回目のコンペが開かれ千葉のカメリアヒルズカントリークラブで行われました本当に記念すべき1日でした。途中切れることなく現在に続いています。

4・5年前からは北高と年に1回合同でおこなっています。

しかしここ20・21年の2回は、初めてコロナのために中止となりましたが22年はコンペが出来ました、今村氏（15回生）の尽力によりクラブの方は運営されています。今後も途切れる事なく毎年開催しますので皆様の参加を待っています。緑の臭い青い空を大いに満喫してください。

30周年に寄せて

9 回生 吉田 牧男

東京柏葉会設立30周年の記念すべき節目を迎えることができましたことに皆様と共に喜び・心からお祝いしたいと思います。これはひとえに諸先輩方を始め、東京柏葉会に携わってきた全ての皆様あつての事なのだと改めて強く感じております。

30数年前を振り返りますと今でも設立時の事（東京柏葉会結成前夜）が懐かしく想い出されます。時には神田のお店に集まり東京出張中の人達も集合していろいろな話をした事もありました。そして今日（こんにち）沢山のひとと出会い・繋がりを経て30周年記念を迎えることができました。

40周年・50周年・・・へ東京柏葉会の更なる発展を祈念しましてお祝いの挨拶とさせていただきます。



東京柏葉会 設立 30 周年記念を迎えて

12 回生 馬場 徹也

この度、我らの佐世保南高等学校東京柏葉会設立30周年周年記念を迎えこの上なく有難く、又立上げ当時にご大変苦勞された諸先輩（特に4～9回卒業生）に心より感謝致します。

この間、母校及び柏葉会本支部からか後押しを頂き、また故郷及び他高校同窓会との交流を通じ、絆の強い頼りになる癒される立派な東京柏葉会に育ちました。

母校出身者にも社会を引っ張る立派な先輩後輩が多く活躍しており非常に心強い限りです。何と云っても、2004年（平成16年）3月26日に『全日本バレーボール高等学校選手権大会』に於いて男子部で佐世保南高が、又女子部での九州文化学園が21年ぶりの同一県での男女優勝を成し遂げた事、又そ

それを直接現場で応援して最高の機会を得る事が出来ました。

小生も2004年から2008年まで当時吉田牧男会長のもとで副会長として補佐を仰せつかり、特に若手会員の確保を重点課題に対して、情報発信手段としての『ホームページの再編成』『東京柏葉会賞設置』及び『会員開発担当の設置』等で頑張ってきました。

これからも同窓の皆様が一層の親睦と融和を図り、我らの東京柏葉会及び長崎県立佐世保南高等学校の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

東京柏葉会 30 周年おめでとうございます。私は 10 周年の時、女性の役員が誰もいないということで副会長として任命を受けました。何の知識もない私を先輩役員の方々が温かくご指導して下さい、7 年間つとめさせて頂きました。

役員会といえば三田にある元会長吉田さんの事務所によく通ったものでした。何とか東京柏葉会を盛り上げていきたいと色々な企画を試みました。

フォークダンスの曲に合わせて参加者全員が一つの輪になった事、それを指導した私にはとても感動的でした。春高バレーで法被を着て力の限り応援し、見事優勝してみんなが抱き合って喜んだこと等々、私の心に残っている 1 ページです。

現在は若い方々が引き継いで活躍されています。それも又これからの楽しみです。校歌や応援歌を歌う時は、今でも南高校の生徒に戻った気分になります。

そんな母校を誇りに思いこれからもずっと東京柏葉会を応援していきたいと思います。



おー当たりましたよ！

12 回生 町田 敬三

東京柏葉会総会、何回目か忘れましたが、福引がありました。1 等はパソコン（原田様提供）、2 等はフォーシーズンズホテル 2 名宿泊券（真田先輩提供）、”パソコンは持っているので、ホテルを当てたいなー” そんな思いで、抽選を待ちました。おー当たりました！ラッキーホテルですよ。食事は懐石料理という豪華版でした。

実務では結構長い間、案内状や当日のプログラムなどの制作もさせて頂きました。

総会では、同期生や顔なじみの先輩や後輩と顔を合わせ、ちょっとした会話でもうれしいものでした。傘寿を超えた私は家庭の事情もあり参加できませんが、東京柏葉会、そして総会がずっと続くことを願います。

東京柏葉会 30 周年記念を祝して

13 回生 小池 寛治（元オランダ大使）

駐オランダ日本大使を終え、約 40 年間の外務省勤務を辞めた。その間、約半々を日本と外国で暮らした。外国生活は 7 ケ国であり、アジアはタイとマレーシア、米国のニューヨーク、中東はアラブ首長国連邦、ヨーロッパはイギリス（オックスフォード）、スイス（ジュネーヴ）、オランダだった。最後の勤務地オランダは、日本に来た最初のヨーロッパの国であり、先ずは平戸に商館を構え、その後、幕府の命により、泣く泣く長崎の出島に移動させられた。今でも、平戸と出島でその当時の面影を偲ぶことが出来る。

外務省の勤務でも随分働かせられたけれど、何と言っても、課長時代と大使時代が忙しくてもやり甲斐があった。自分の思うように他人を動かせるし、責任を取る覚悟があれば、それで済むからであった。

最後に、妻に感謝したい。自宅設宴を頻繁にやったし、女性同士の方が、話が弾むものらしい。特にアラブの国では、女性は夫の行動についてよく知っており多くの重要な情報を得たものだ。





東京柏葉会設立30周年によせて

15 回生 宮内 伶

私たち世代が佐世保南高校を卒業してより、60 余年を経過しました。この間、母校は少しずつ、少しずつ変容している様子です。

1909 年（明治 42 年）に開校した旧制「佐中」を母体として、戦後の学制改革によって、1948 年（昭和 23 年）に私たちの「佐南」が開校したという歴史の流れがあったとのこと。私たち世代は「佐南」15 回生です…現在、佐南在学の皆さんは 75 ～ 77 回生となるんですネ。

「佐中」の頃の佐世保の街は、軍港佐世保・軍事都市であったでしょう。日清、日露の戦い、更に第一次、第二次の大戦下で、海軍維持のために造船所を充実させ、そのエネルギー源としての採炭業が繁栄し、急速に佐世保の街並みが形成されたのだと思います。第二次大戦下で佐世保の街

並みは米軍による大空襲を受け廃墟と化してしまいました。敗戦、それでも 1950 年の朝鮮動乱で、佐世保の街並は瞬く間にしぶとく蘇り、軍港として活況を呈したことでした。その後、エネルギー源である石炭は石油にとって代われ、軍港活況は低落していく中で今日の佐世保があると思います。

軍港都市・佐世保が世界の荒波に揉まれる中で、私たち世代は佐世保南高等学校に学び、育まれたんですネ。寄せ来る世界の荒波の中で、東京柏葉会の私たちは何かを求めて、ここ関東地域にしぶとく生き抜いております。母校・佐世保南高校では、来る新学年から「文理探究科」なる学科が開設されるとののだそうです。

「自らで学びを深めることで、身につく確かな学力と、正解のない問いの

解決に挑む課題判断力を身に着けること、を目標とする」

という教育指針で臨まれるのだと聞き及びます。佐南に学ぶ後輩諸子たちの思い描く「未来」に耳を傾けてみたい、そして、故郷の歴史を振り返り、世界から寄せ来る大波・小波に立ち向かっていく熱意・行動力に期待し、見守りたいと思います。

長嶺先生長寿（92歳）を祝うクラス会

15 回生 今村勝義

令和 4 年 11 月 23 日に佐世保駅前のいけす料理博多屋で 12 名集まり南高時代の 3 年 9 組の恩師長嶺先生（東京柏葉会の恩師招待で二回来て頂きました）を囲む会を開催しました。

4 年前に米寿祝を開催し、20 名集まりましたが、今回はコロナ禍で集まりは半分でした。「夫婦が元気な時に今一度、皆様と会いたい」との先生のご希望で厳しい状況の中皆様に集まって頂きました。東京柏葉会から、衛藤君、宮内君、川上君と私の 4 名が出席しました。

佐世保南高校の恩師との長い繋がり、クラス員の横の繋がりを肌を感じる事ができました。先生から「皆さんの声を後から聞きたいので録画してくれ」と依頼されスマホで全員の挨拶を動画で撮り USB で参加者全員に送り皆様に喜ばれました。

佐世保南高校の良さを実感した貴重な時間でした。



東京柏葉会設立30周年に寄せて

15 回生 杉崎 美保子

東京柏葉会設立 30 周年 おめでとうございます。

初めて出席した時は顔見知りもいず、心細い限りでした。

というのも、昭和 42 年 7 月 佐世保の集中豪雨で、実家が被災した為それまでの思い出全てが、流されました。その中には当然、小中高校の卒業アルバムもありましたので、私からは連絡がかなわず、その後数人の友人を除いて消息が途絶えたのです。それから 20 年余が過ぎた頃、15 回生の三八会が開かれるにあたって、私を探し出してくれたのです。それから、殆ど毎回出席しています。

在学中は、接点や交流のなかった同級生の方々と、お話しが出来るようになりました。そして、大先輩や大後輩の方々とです。毎回楽しみだったのは、同窓生の講演とバザーでした。特にバザーは始めた当初、15 回生が中心になって値付け、販売等ほとんどを担っていました。

皆さんが提供して下さるお気持ちに感謝しながら、準備を楽しんでもいました。

又、その品々を楽しみにして下さる方もいて、バザーを通して他回生との交流が出来たのも、良い思い出です。→

同窓生による講演も楽しみのひとつでした。バザーの準備等で、毎回とはいきませんでした。南極越冬隊や富士山、植物についてなどなど、興味深いお話しが印象的でした。新型コロナ発生以降は、休会でしたが、昨年は対面とリモートで開催され、久しぶりにお元気な皆さまにお会い出来たことは、大きな喜びでした。

この先、通常の柏葉会に戻るのはいつのことになるのか？今はそれを心待ちにしています。

そしてその時、皆さまがお元気でありますように…。

そして、東京柏葉会がいつまでも続きますようにと、願っています。



三十周年記念に寄せて

16 回生 松本 和子

「東京柏葉会三十周年」おめでとうございます。創立準備会から参加、改めて諸先輩の方々のお顔とご苦勞の多々を思い出しています。準備会の会場は、当時代々木にありました「佐世保寮」その後銀座の「長崎新聞社」お茶の水「総評会館」現在の四谷「長崎県人クラブ」へと。

会計を担当されていた6回生の国吉さんから受け継いだ手書きの明細会計書類。その後ワープロ・パソコンへと短期間での「文明の利器」は私にとってなかなかでした・・

当時九回生の皆さんが月に一度開催されていたパソコン教室（田町の東部重工業事務所吉田会長）でお世話になりました。東京柏葉会では16回生は出席人数で盛り上げてくれました。

終了後の同期での二次会も宿泊も椿山荘。年に一度のシンデレラボーイ・ガール！一度味わってみたいと毎年あちこちから。翌日は箱根・伊豆等の温泉へ。年に1・2度の旅は、遠くは台湾、北海道・福島・関西・長崎県小値賀など修学旅行気分。沢山の思い出を残して旅立った仲間・・・全ては「東京柏葉会」から始まった「東京一路久会」です。

今年78歳の私達、会場は変わりましたが「長寿の祝い」を楽しみに頑張ろうと声かけ合っているこの頃。コロナに邪魔されながらも今年も千葉在住の仲間の畑に「秋の収穫祭」の予定です。手足は動かず口だけは元気です。30周年記念に感謝を込めて!! 栄あれ「東京柏葉会」

『江戸を旅する』

19 回生 金子 成人

時代小説を書き始めて、かれこれ十三年になる。最初はひとつの出版社だけで書いていたシリーズものも、今では三社になり、それにつれてテレビドラマからは離れることになった。

テレビ作りと違って、小説には予算の制約がないというのがありがたい。大火事や洪水を起こしたり、大名行列などの大人数、商家や武家屋敷、それに日本橋などが出て来たりする場面はお金がかかるので脚本の段階で削られることになるが、小説では好きに書ける。登場人物が暮らす町や通りを古地図で調べていると、いつの間にか自分も当時の江戸の町を歩いているような気分になる。

建物の形は変わっても、余り道筋の変わっていない日本橋界限、八丁堀や根津、千駄木などに出掛けて行くのも楽しみのひとつです。 <了>



かんぼうの友たちと落語会

23 回生 海老原 靖芳

卒業して50年にもなると、同級生が集まっても話す内容は病気や薬のことばかりだから「漢方の友」・・・ではなくて「かんぼうの友」とは「管鮑の友」のこと。

「管鮑の交わり」という故事があり「利害によって変わることなどない親密な交わり」という意味ですが、そういう同級生たちと続けているのが『佐世保かっちえて落語会』。

都心部では濁った川も、源流まで遡れば飲めるほど澄んでいます。

南高時代に打算も利害も忖度もなく付き合っていた同級生たちは、心澄んでいた頃の“源流の友”。そういう友たちと続けているから落語会も東京柏葉会も続いているのですね。

30周年、おめでとうございます。

設立30周年おめでとうございます。

私がホームページの担当を開始したのは母校が春高バレーで全国制覇した2004年頃でした。WEB環境も様変わりし、SNSの出現でホームページのあり方も変わりました。「ホームページは必要？」と考えた時もありましたが、SNSにはない利点として「記録を残す」があります。

仕事・子育て・介護など様々な理由で参加できなかった方、あるいは全国の同窓生が当会ホームページを見て参加する手助けを少しでもできたら良いと考えています。また各回生の皆様にも「同期会」ページをご活用頂きたいと思います。

最後に、ご指導いただいた先輩方、ご支援いただいた母校・東京柏葉会の会員の皆様に感謝を申し上げます。



事務局としての苦勞と喜び

25 回生 金氏 政徳

設立30周年誠にありがとうございます。

2015年から2019年まで事務局を担当しました。作業の種類、量の多さで仕事と両立できるか心配でしたが皆様のご協力で何とかやり遂げることができ感謝しております。

事務局では総会・懇親会の案内状発送から回収までが最大の作業です。

当時で1500通ほど発送して300人程度の出席でした。開催日の一週間くらい前に締めるのですが、それを過ぎても出席の連絡があります。出席者が増えると名札、受付名簿、座席表、料理等に影響があります。増えることは大歓迎なのですが関係者との調整は大変でした。

事務局を担当して良かったのは役員・年次幹事の皆様は勿論のこと、会員や他校の方々との交流を深められたことです。

現在は郷里へ戻り、本部柏葉会の年次幹事をしており、今後も東京と佐世保で連携して進めたいと思っています。

東京柏葉会の皆様、こんにちは。

29 回生 山野内 勘二

昭和52年（1977年）3月に佐世保南高校を卒業した第29回生の山野内勘二です。卒業してから46年が経ちました。正に、光陰矢の如し、です。南高で学んだ3年間は愛おしく懐かしいです。今、実感している事があります。自分の思考と行動の原型をつくってくれたのは、自由な校風で自ら考え実践する事を慫慂する南高だったんだと。

私は、昭和59年に外務省に入って、現在は駐カナダ大使をしています。この間、様々なポストを経験し、内外の素晴らしい方々にご指導頂き、優れた同僚・仲間達と仕事をして来ました。

そして、人生にとって核心的に重要な要素は4つだと考えるに至りました。アルファベットで示すと、VSOPです。Vision, Strategy, hOnesty, Passion。広い視野での構想、戦略的思考、正直さと誠実さ、何事にも負けぬ情熱、です。VSOPを持って事に臨めば、困難を乗り越え、仕事であれ趣味であれ、夢と理想の実現に向け前進します。その旨、後輩達にもよく話しています。

実は、このVSOPは、全て南高で学んだ事でした。そうと気付くのに40年余がかかりました。根源的な影響でした。先生方、先輩、同級生への感謝の気持ちでいっぱいです。

長崎県立佐世保南高等学校のますますの発展を祈念します。





「人の繋がり」と「海の友情」

37 回生 齋藤 聡 (日宇中)
水泳部 海上自衛隊 自衛艦隊司令官

昨年末、バングラデシュ独立 50 周年国際観艦式に海上幕僚長の代理として参加し、「Friendship Beyond the Horizon (海を越えた友情)」をテーマに米海軍太平洋艦隊司令官パパロ大將とともにスピーチを行いました。当日は奇しくも 81 年前、帝国海軍が真珠湾を攻撃した 12 月 8 日。壮絶な戦いを繰り広げた両海軍は、戦後、互いに敬意を払いながら「人の繋がり」、そして友情を育み、

現在は強固な同盟関係を継続しています。激闘を乗り越えて築き上げた「海の友情」に多くの参会者から共感を得ました。私たちの故郷佐世保でも様々な交流を通じて「人の繋がり」により日米の相互理解を深めていることと思いますが、その積み重ねが今日の緊密な日米関係に繋がっているのです。

東京柏葉会が、佐世保の「人の繋がり」の重要な役割をこれからも果たしていくことを祈念致します。



東京柏葉会賞からの贈り物

37 回生 中山 芳克 (元 東京柏葉会賞委員会 委員長)

東京柏葉会設立 30 年おめでとうございます。

2012 年度から開始した東京柏葉会賞の広報、選定、表彰を通じて多くのミラクルな「贈り物」を頂きました。南高の同窓会担当の先生方との情報交換、校長先生からの色々な情報、生徒との交流。そのたびに南高の生徒だったあの頃の自分に戻してくれました。表彰式では、2 月の寒々とした体育館に整然と座っている後輩たちの姿と吹奏楽部の校歌演奏にも心震えました。そして、自分が全校生徒の前でスピーチをするという体験もさせて頂きました。

東京柏葉会賞を通じて、先輩方や両親そして後輩たちへの想いを実感させてくれた『ギフト』に心から「ありがとう」と感謝です。

東京柏葉会賞の賞状に思いを込めて

37 回生 森 奈緒子 (旧姓：久住呂)

東京柏葉会設立 30 周年おめでとうございます。

令和 3 年より、東京柏葉会賞の賞状に、贈る言葉を書かせていただいています。

一昨年は「椿 (いのる)」、昨年は「悠々」、そして今年は、どんな苦難にも自信をもって力強く乗り越えて欲しいとの思いを込めて、「最強」としました。

どんな言葉にしようかと考える事から始まり、インスピレーションが湧いた言葉とその思いを役員の皆様にお伝えし賛同していただいてから、心をこめて書き上げています。毎年、賞状のレイアウトを担当される役員の方のセンスの良さに感動し、完成した賞状を手にする笑顔の卒業生を拝見するのがとても楽しみです。

これからも、書を通じて東京柏葉会へのお役立ちが出来れば幸いです。



「志を果たして、いつの日にか帰らん・・・♪」18歳の春、母校南高を巣立ち、早岐駅で見送る母へ口ずさんだ記憶を微かに思い出します。それから37年、東京の食品メーカーに籍をおき、うち25年国際事業に関わり続けてきました。

中国と台湾に計11年駐在時は年に1～2回ほど佐世保へ帰省、また中華圏やASEANを担当時も、飛行ルートが幸運に佐世保上空を通過する際は窓から食い入るように故郷を見つめていました。とりわけ南米ブラジルでは日本からの移民の苦難の歴史と重なり、遠き日本、そして故郷佐世保へ思いを馳せました。

「志を果たして・・・♪」亡き母に誓った志はまだまだ道半ばですが、100年人生、故郷と母校への想いも胸に、わずかでもご恩をお返しできればと思います。



祝・30周年、益々のご繁栄願っております。

39 回生 伏原 朋宏

佐世保市役所企業立地推進局次長

東京柏葉会会員の皆様に於かれまして、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度東京柏葉会が結成30周年を迎えられることを、心からお祝い申し上げますとともに、日頃からふるさと佐世保に対しましては、これまで多大なるご高配いただき誠にありがとうございます。

さて、私事で大変恐縮ではありますが、2013年から丸9年間、佐世保市役所東京事務所に勤務いたしまして、その間、東京柏葉会副幹事長という重職を仰つかい、会長はじめ多くの方々と出会い、そして大変お世話になるとともに、ふるさと佐世保に対してご助言ご教示賜り、大変勉強となり、

何よりも皆様方の“ふるさと愛”に大変感銘したところでした。

皆様との出会い、そして熱意は、昨年4月ふるさと佐世保に戻り、改めてふるさと佐世保が魅力ある街として、どこにでも誇れる街となれるよう、粉骨砕身取り組んでいるところであります。今後も引き続き、ふるさと佐世保へご愛顧頂ければ幸いに存じます。

最後になりますが、会の皆様の益々のご健康ご多幸、会の繁栄を願いまして、挨拶とさせていただきます。

母校への感謝の恩返し

51 回生 萩坂 拓也

この度は、東京柏葉会30周年記念誌の発行を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、私が佐世保南高校に在学致したのは1996年からの3年間になります。思い返せば、高校時代の3年間にて今の私を形成する経験が詰まっており、部活動や体育祭等で組織の中でみんなと強調し合って、自分をどう活かし、どう組織力を最大化させていくか、組織内での立ち振る舞い。また、勉強を通じて、知的好奇心を高めて、色んなことに興味を持ち、学びを深めていくこと。南高校での高校時代があったからこそ、今があると思っており、感謝しかありません。

そのような感謝しかない母校の卒業生が集まる東京柏葉会。母校への感謝の恩返しとして、東京柏葉会に私も積極的に関与し、盛り上げていければと思っております。末筆ながら、東京柏葉会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





東京柏葉会設立30周年、誠におめでとうございます。
時は違えど同じ学舎で青春を過ごした仲間が集まり故郷を思い
語らう素敵な居場所が三十年も続いています。

私も東京柏葉会に参加させていただき同窓というだけで先輩
たちからたくさん可愛がっていただけるもはや家族に近い存在、
東京のお父さんお母さんがおります。

青春を引きずるということがこんなにもかけがえのないものな
のかとしみじみ感じております。

私の生業であります落語は伝統芸能であります。師匠から芸
人としての生き方、落語を教わり、それを後輩に伝えていくこ
とで三百年以上続いている文化であります。

同様に東京柏葉会で先輩から頂いたご縁を後輩へつなげ、東京に息づく佐世保南高校の文化となるよう何
か力になれたらなと考えております。落語家でございますので言葉遊びでお開きとさせていただきます。

東京柏葉会とかけまして、着物とときます。どちらも帯（OB）結ぶでしょう。

若手の東京柏葉会参加を願って

70 回生 畑田 了悟

東京柏葉会の設立 30 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。
初めて総会に参加させていただいたのは 2019 年でした。その際に先輩方と繋
がりを持つことができ、次回の総会にも参加したいと強く思いましたが、新型
コロナウィルスの影響で大学生時にはこの一度しか参加することができません
でした。

昨年は3年ぶりに開催され2度目の参加となり最若手として話す時間もいた
だき、とても有意義な時間を過ごすことができ改めて素晴らしい会だと感じました。
今年も開催予定とのことなので、ぜひ参加させていただこうと思います。 また、
私より若い卒業生にも参加していただき、さらに東京柏葉会が盛り上がることを願っています。

末筆ながら、東京柏葉会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



南高ラグビー部の青春

73 回生 松尾 旺

玉川大学 農学部環境農学科3年

私の3年間の一番の思い出は、ラグビー部の活動です。顧問の山崎先生のお陰でラグビーが好きになり、人生の転機になったと思っています。諸先輩方の時代は華やかだったラグビー部も私達の代では5名、最後のラグビー部員となってしまった事が伝統を継承出来ず、とても心残りでした。

3年生の春に他校と合同で九州大会出場権を獲得、コロナ禍で大会は中止となりましたが代替え試合に出場しました。大先輩が応援にお越しくくださった事を有難く思っています。

また、私達の活動において2020年2月には「東京柏葉会賞」を頂きました。その賞金でチームウェアを作成させて頂きました。歴代の南高ラグビー部の歴史を図書館で調べ、ユニフォームを倉庫から探し復刻版をデザインし最後のチームで揃えた事が良い思い出です。

大学でもラグビー部（関東大学リーグ3部）に所属、部活と学業を両立して海外留学も目指して頑張りたいと思います。



皆様からの寄せ書き

114名の同窓生より、たくさんの寄せ書きを頂戴しました。

東京柏葉会は、正に世代を超えた「忘年の交わり」であり、皆様の寄せ書きは、故郷愛や母校愛にあふれています。

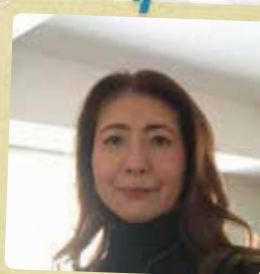
寄せ書きへのご協力、誠にありがとうございました。

編集委員／36回生 古川、38回生 伊原



前山 廣司（21回生）

時のたつのは早いもので、もう30年になるですね。秋葉原のワシントンホテルで設立に参加したのが、つい昨日のことのように思い出されます。これから、よろしく！



八並 真由美（31回生）

南高を卒業して、40年以上経ちましたが、ふるさと佐世保愛、母校愛は不変です。東京柏葉会の先輩、同級生、後輩との交流を、今後も継続していけたら幸いです。



川谷 郁子（31回生）

同級生たちが活躍してくれているおかげで、2018年の総会に遠くから参加できました。東京の地でこれからも暖かいつながりを守り育ててくださいね。



小国 秀宣（21回生）

佐世保18年、埼玉20年、フィリピン・バギオ市17年、他17年住んでいましたが、私のブログでの名前は佐世保（させたもつ）です。心はいつも佐世保、同窓会楽しみ。



横井 由利（23回生）

佐世保を離れて50余年経ち、怖いもの見たさで初めて柏葉会に参加すると、友人と交わした会話や校庭の景色が鮮やかに蘇りました。旧友との再会は軽く時空を超えるものです



大場 浩子（31回生）

校歌を歌う度に、心はあの頃に翔んで戻ります。歩んでいる道はそれぞれですが、皆様の顔を見てると素晴らしい同窓会だと感謝しています。



小林 澄子（13回生）

今年お正月孫娘夫婦がお年賀に来てくれました。夫は米国人、日本茶が大好き。お盆点前でお薄を出しました。とても喜んでくれました。南高茶道部でのお稽古ありがとう！



辻 俊昭（36回生）

地方創生が課題となっていますが、日本屈指の海岸美と豊かな海の幸を持つ佐世保は、ワーケーションやセカンドライフの地としても無限の可能性を秘めています。舞いあがれ！



大渡 茂敏（21回生）

確か初回から参加しています。ここまで続けてきたのは諸先輩方のご尽力の賜物によるものと感謝しております。最近の集まりでは、校歌斉唱の指揮を指命されています。



占部 亮司（23回生）

20年ほど前から東京柏葉会に参加しています。23回生はたくさん集まりますので楽しみです。30周年を機に初めての人や佐世保からの参加があることを期待しています。



坂元 昭彦（36回生）

東京柏葉会設立30周年おめでとうございます。地縁のない東京に出てきて10年、佐世保や母校の皆様との繋がりは、とても暖かくありがたいものです。



片原田 詩織（61回生）

東京柏葉会設立30周年おめでとうございます。3歳になる娘の口癖の「いいよ！」を「よかよ！」にした地元大好きな母です。



高増 義博（26回生）

「東京柏葉会」30周年おめでとうございます。故郷より遙か遠い地に暮らす仲間との集いのたびに、母校愛、佐世保愛は年を重ねるごとに一層深まってくるのを感じております



堀 真樹子（31回生）

「草々ヶ原に永遠の鐘…」実は吹奏楽部なので歌詞がややふや。初めて柏葉会に参加し旧友達との再会、椿山荘に響き渡る応援歌に涙しました。今では柏葉会は私の心の支えです



伊原 寛隆 (38回生)

南高卒業後37年、故郷愛と母校愛は不変であり永遠です。伝統ある東京柏葉会の持続可能な発展に、微力ながらお手伝いさせていただきます。(野球部の後輩達も頑張らんばよ！)



古川 まゆみ (36回生)

“自律自律”学生の時はよくわかりませんが、大人になってから何度も思い出しましたが、大人になってから何度も思い出しました。いい母校、いい仲間、佐世保愛でこれからも柏葉会の繋がりが続きますように。



池田 康人 (21回生)

2000年の第10回記念の柏葉会が初参加。南高卒業後30年ぶりに同期や同窓の方々との再会が実現し、その後20年以上ゴルフや旅行・宴会と楽しかことが続いています。



川口 克彦 (36回生)

卒業して約40年、いまだに同級生が集まって近況や昔話で盛り上がってます。何十年振りに会ってもすぐ学生時代に戻れる、そんな魔法の力が同窓会にはあると思います。



大滝 理恵子 (31回生)

ふるさと佐世保を離れて40年以上経ちますが母校への想いは昔のままです。31回生は東京柏葉会への参加者が多くこれからも沢山の思い出を作りたいと思っています。



緒方 千草 (26回生)

卒業して50年、東京でも今風に佐世保弁で話しよるよ。26回生はふうけもの集まりやけん好いとつと。



今村 勝義 (15回生)

東京柏葉会には、第10回から携わってきました。幹事長・副会長と歴任しました。維持・拡大出来るためには若い人達の参加が必至です。更なるご支援をお願いします！



三遊亭 らっ好 (61回生)

さながら、親戚の集まりのような温かい気持ちになれる東京柏葉会。青春を引きずるということは、かけがえのないことだと教わりました。設立30周年おめでとうございます。



大野 知彦 (13回生)

平成19年(2007年)2月に母校で「若者よ！ 科学技術へ関心を！」というタイトルで講演を行いました。傘寿になった今も優秀な南高諸君の将来に期待しています。



長岡 健 (29回生)

「ふるさは、遠きにありて思ふもの。そして悲しうたふもの」という詩がありますが、僕は、遠く離れていても、同窓の同志と、楽しく語り合いたいと思います。



2 須黒 真寿美 (26回生)

保6回生はことあるごとに集まり、佐世保も弁で大いに語り、笑い、飲み！元気にらってきました。これからも各自健康願ひしながら同窓生の絆が続くことをしています。



川崎 航太朗 (65回生)

卒業して10年が経ちます。あつという間でしたが南高で培った努力続ける力は今の仕事に活かしてます！柏葉会では色々な時代の南校を知れるのでいつも感謝しています！



福本 悟 (26回生)

早いもので、南高卒業して50年経ちますが、同窓の仲間達は、ことあるごとに集まって、楽しく語り合い、いつも絆を深めています。やっぱり同郷仲間っていいね！



増田 達彦 (26回生)

設立30周年おめでとうございます。東京柏葉会に関東在住の同期だけでなく部活の先輩や後輩の方々と直接歓談ができる貴重な場です。幹事の方々のご苦勞に感謝します。



宮島 栄次郎 (21回生)

高校を卒業して50年以上、柏葉会で集まるとあつという間に佐世保弁に戻り懐かしい雰囲気になります。これからも同窓同期との語らいの場としての柏葉会に期待しています。



福田 伸介 (38回生)

転校したので南高の卒業生にはなれませんが、同級生が何かと声を掛けてくれて有難い限りです。それだけに母校愛は人一倍。応援してます！！



山村 満博 (31回生)

高校の同級生の仲間と集まると佐世保弁で時間が戻ったような時を過ごせるそんなよか仲間たちに感謝 健康第一でね！ Age is just a number!



萩坂 拓也 (51回生)

この度は30周年、おめでとうございます！南高での学び、交流が今に活かされています。関わって頂いた全ての方に感謝。これからの東京柏葉会も盛り上げていきましょう



椎葉 卓光 (21回生)

高校卒業後に進学で上京し53年、新宿で元気に毎晩呑み歩いています。同期や同窓生の皆さまとお会いできるのは楽しいですね！30周年おめでとうございます。



酒井 重典 (13回生)

第13回卒業の私も傘寿を迎える齢となりました。同窓・同期の皆さまにも励まされながら、今しばらく気象防災の分野で故郷や社会のお役に立つ活動を続けたいと思います。



関 智子（36回生）

東京の西部でひっそり活動していて、柏葉会を知ったのも東京柏葉会に参加したのも数年前でした。設立30周年おめでとうございます。



青木 和代（36回生）

顔馴染みも言葉交わしたことがなかった人も、南高のキーワードですぐに時空を超えられる、柏葉会は素敵な場所ですね。30周年おめでとうございます。



折原 恭子（26回生）

佐世保で過ごした時間よりも、東京で暮らした時間のほうが長くなりました。実家もなくなりましたので、多分東京が第二の故郷になると思います。



猪又 博道（15回生）

時はやがて春。人生はやがて冬。私の人生の春は佐世保南高等学校の3年間で。今まで支えてくれたすべての人に感謝します。30周年おめでとうございます。



長野 康典（17回生）

3月5日、東京マラソンに参加します。76歳、最初にして最後のフルマラソンです。日々、体力の衰えを感じながら練習しています。目標は、制限時間内の完走です。



杉原 稜（61回生）

設立30周年おめでとうございます！なぜかいきなり上京し、らっ好に導かれ皆様と出会い早4年。これからも母校の為に何か力になればと思います！よろしくお願ひします！



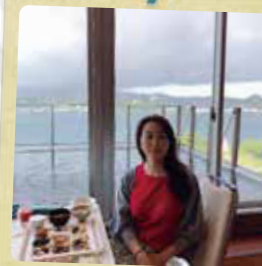
前川 知行（62回生）

30周年おめでとうございます。幅広い世代の人たちが集まっているところが東京柏葉会の魅力だと思います。



瀧本 茂幸（28回生）

男子志を立てて郷関を出づ。南高を卒業して47年、かつての紅顔の美少年も老境に達しました。年々歳歳相似たり、歳歳年々同じからず、同窓の繋がりをより深めます。



旦 享子（36回生）

30周年おめでとうございます。佐世保を離れて40年近くになりますが、同窓の皆様と繋がる場がある事に感謝します。



埴淵 智子（23回生）

元気しとらず？同窓会の無かったけん淋しかったとよ。そいに佐世保弁は忘れてしまごたっし…。元気に会えるとは楽しみにしとるけんね。



吉居 千恵（31回生）

30年の継続に尽力された皆さまに感謝いたします。柏葉会の情報便で現役生や卒業生の近況を知り、喜んだり、励まされたり・・・元気の素にしています。



山崎 清美（27回生）

理想を実現された先輩方の講演は、理念となりました。春高バレー全国優勝は、信念と絆になりました。タイムアップは、揺るぎない信頼となりました。



中山 芳克（37回生）

一通の封筒を開封してから色々な出逢い、再会、貴重な経験を。懐かしい先生方の意外なエピソードを聞いた、全校生徒を前に話す機会までと感謝です。



徳永 元秀（41回生）

高校を卒業し、約35年が経ちました。故郷を離れても地元愛に満ちた「東京柏葉会」設立30周年おめでとうございます。



宇田川 成子（31回生）

文化祭でのキプロスの演奏に吹奏楽部の宇宙戦艦ヤマト！勝手にシンドバッドで走り回った体育祭稽の炎・・・大好きな同級生の皆とは、いつ迄も元気で笑い逢いたかです。



毛利 政美（27回生）

転勤族で全国を転々として、最後の住み家が東京になり、東京柏葉会に参加して10年過ぎたところです。同級生、先輩、後輩と元気で参加できるよう精進していきます。



松尾 早苗（31回生）

まだ2回しか参加していませんが、みんな面影があって、南校時代を懐かしく思い出しました。今年は参加できませんが、盛会をお祈りしています。東京柏葉会ありがとうございます。



宮越 良治（39回生）

30周年おめでとうございます。私は北の大地で先輩と同級生の合計4人の札幌柏葉会に加えていただきました。寒い北海道での地元の繋がりは、本当に心強く感謝しています。



伏原 朋宏（39回生）

創立30周年おめでとうございます。東京柏葉会では、沢山の同級生をはじめ先輩や後輩とお会いする事ができ、大切貴重な場となりました。益々のご繁栄を願っております。



横石 秀明（27回生）

それぞれが多感な時を過ごした3年間の想いを、故郷から遠く離れた東京で語り合い、毎年新しい想いは積み重ねられ30年。そしてまた、その先も次なる想いが輝きますように



畑田 了悟 (70回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます！卒業後は佐世保を離れましたが、柏葉会に参加すると佐世保に帰って来たのかな？と感じます。これからも楽しみにしています！



日下 多佳子 (36回生)

東京柏葉会設立30周年おめでとうございます。故郷に母校にそして良き友へ乾杯！この繋がりがずっと続きますように。「自強自律」「和敬礼節」まだまだ実行中。



廣瀬 信彦 (35回生)

30年前、形状記憶のシャツが誕生したそうです。人は悲しいくらい忘れてゆく生き物、らしいのですが、子供でもない大人でもないプニゅとしたあの頃は、なぜか鮮明です。



齋藤 雅洋 (40回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。世代を超えて東京で佐世保、南高校の話ができる楽しい会です。益々のご発展を祈念しております。



塚本 晶子 (37回生)

海外に住んで24年になりますが、いつも帰国時に同級生に会うのを楽しみにしています。一瞬で時を超えて笑い合える友人達に感謝です。



岡 毅幸 (36回生)

東京柏葉会創立30周年おめでとうございます！私も東京にやってくるまで30年になりますが、佐世保の母校の同窓会があると心強く感じます。事務局の皆様へ感謝です！



大神 達也 (31回生)

設立30周年、おめでとうございます！東京柏葉会、そして佐世保南高校及び卒業生の皆さんの益々のご発展をお祈りします。アログ大王と北鎌倉の暴走ジジイより。



畑生 幸信 (37回生)

同級生とは何十年も会ってなくても、直ぐに時を戻せるのがいいですね。コロナの感染も落ち着いてきたので、そろそろ皆さん、会って楽しみましょうか！



田代 浩一 (26回生)

設立30周年おめでとうございます。佐世保を離れて40数年、近くに同窓生仲間がいるのが心強いです。いつもわいわい楽しんでいきます。



徳野 久美 (36回生)

東京柏葉会 設立30周年おめでとうございます。卒業後佐世保からは離れましたが、しばしば同窓生に会えることは、とてもうれしいです。益々のご発展を祈念しています。



於保 鴻一 (13回生)

総会が楠山荘で開かれていた創成期、13回生が幹事を担当した年に、合わせて同期会を開催した。全国から仲間が集い、楽しいひと時を過ごした。思い出の1ページである。



森 奈緒子 (37回生)

卒業して38年、同級生との語らひはとても楽しくて、いつも元気をもらっています。お婆ちゃんになっても集まりたいです。



松尾 旺 (73回生)

東京の大学に進学して3年、南高在学中からいつも諸先輩方の応援は心強く有難い存在です。今後とも御指導宜しくお願い致します。柏葉会設立30周年おめでとうございます。



宮内 伶 (15回生)

重量25トンのイチヨウの太木、手の平に乗る超ミニ苔玉植物、園芸を語って列島を行脚の56余年。カシワの緑もいっぱい植えました。



山縣 秀和 (38回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。親子二代で南高卒です。当会にはまだ参加できておりませんが、ますますの発展をお祈りします。



井上 満 (27回生)

設立30周年おめでとうございます。いまだに仕事で全国飛び回っています。そのうち、懐かしい皆さんとお会いできることを、楽しみにしています。



鳥羽 学 (39回生)

この度は設立30周年お祝い申し上げます。関東に生活の場を移しSNSで39回生と横に繋がり、東京柏葉会を紹介へと広がりました。感謝しています。



堀内 一寿 (38回生)

30周年、おめでとうございます。以前総会に参加し、皆様の南高愛とエネルギーに圧倒されました。久しぶりに同級生と会え、応援歌を歌うと、元気になりますよね！



福嶋 毅 (36回生)

設立30周年おめでとうございます。東京生活も30年以上となりましたが、同級生の皆さんに会うと話が弾み、笑いが絶えません。これからも柏葉会を楽しみにしています。



池田 隆一 (29回生)

2018年の第28回東京柏葉会。29回生としては一人での参加。ラグビー部の恩師にお会いでき、久々の校歌に涙腺がきれました。設立30周年おめでとうございます！



山村 紀一郎 (41回生)

30周年おめでとうございます。何年経ってもオイはやっぱり佐世保弁。一緒の言葉ばっかって、懐かしさ佐世保のコトば話されるこの集まりが今でも大好きです。乾杯！



松永 洋一郎 (27回生)

ご高齢の先輩方は勿論、若い人の参加が多いこの東京柏葉会をこれまで引っ張って来られた役員の皆様、人知れずのご苦労が多々ありましたね。本当にありがとうございます。



高橋 幸代 (36回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。佐世保を離れて年月が経てば経ほど、同窓生との語りは私に癒しを元気を与えてくれます。これからも楽しみにしています！



村山 ゆき子 (39回生)

東京砂漠に来ては25年。東京柏葉会を通じて古い仲間と再開。コロナなどの障害もありましたが、この再会を与えてくれた柏葉会に感謝しています。



自見 信也 (32回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。幹事の皆様のおかげで、同窓生の近況や活躍を見聞きすることができ、パワーを買っております。感謝いたします。



吉開 英一 (36回生)

大学から東京で、家族は神奈川で育ちました。私には、遠いふるさとの佐世保は大切で、立派な同窓会が東京にあることを誇らしく思っています。



吉崎 康成 (37回生)

東京柏葉会設立30周年おめでとうございます。またコロナ前のように柏葉会で同級生や先輩方にお会いできるようになることを期待しています。



加藤 知子 (26回生)

卒業してもう50年！本人もびっくり。26回生の仲の良さは半端ないです。身体も元気、つながり元気でこれからもよろしく！大好きな仲間です！



福江 佑子 (37回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます！世代を超えて話題を共有できるのが嬉しいです。未来に向けて、続けていけたらよいですね。



川口 尊明 (33回生)

幹事長、応援団員です。還暦を過ぎても精神年齢は若いまま成長ありません！東京柏葉会は様々な世代の方が集まる交流の場です。皆様のご参加宜しくお願い申し上げます。



福田 有花 (68回生)

上京して7年、すっかり標準語に染まりました。東京柏葉会の方々と集まると佐世保弁で話されていて、とても落ち着きます。東京柏葉会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



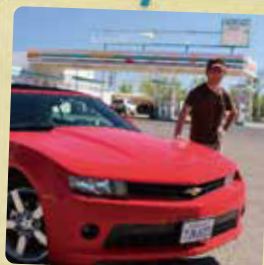
香月 雅順 (37回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。10年程前に呼んで頂き、それから同級生との素敵な出会いや交流に恵まれて感謝です。



茨木 久美子 (37回生)

離れてより感じた故郷の美しさ。同窓会で知った当時は気が付かなかった友人達の別の魅力と完全に忘れていたあの頃の自分。30周年おめでとうございます。益々のご発展を！



黒田 大介 (37回生)

高校時代に観た映画と感じたことが自分の原点になっています。オトナになってわかった最も大きなことは「自分の内面が先、自分の外側で起こる現象が後」。



北御門 京子 (16回生)

南校のプールは県初の公認プールと聞いていた。日宇の私は聞こえてくる試合のアナウンスに心躍らせ誇らしさも！ところが南高の生徒になり、入ったプールは深くて怖かった。



井上 公夫 (27回生)

在校時からお世話になっていた先輩から誘われ参加した東京柏葉会。設立メンバーの当会に寄せる熱い思いから、27回生南想会もできました。設立30年、感謝を込めて。



井上 千陽 (71回生)

設立30周年おめでとうございます。上京して4年、東京での忙しい日々はとても充実しています。東京柏葉会の皆様、いつも気にかけてくださり、誠にありがとうございます。



佐藤 弘子 (16回生)

「東京柏葉会30周年」おめでとうございます。5回生の姉達の柏葉会立ち上げの模様が目に浮かびます。青春の一頁は制服のままカズパで「シャレード」を観た思い出です。



大浦 貴史 (66回生)

設立30周年おめでとうございます！東京に今年戻る予定です。多くの先輩方と柏葉会を通じてまた関わらせていただきたいと思っています！繋がりをありがとうございます。



木寺 秀雄 (16回生)

校庭を流れる小川で友達と鯉釣り。竹枝製の釣竿で鯉が居そうな穴を攻め、奥の手のバッテリー感電漁法まで駆使。しかし一匹も釣れず。ほんなごて、鯉はおったとやろか？



原 英次郎 (27回生)

私の命尽きても、柏葉会が永遠(とわ)に続きますように。まずは50年、次は100年、細くても、灯火を絶やさぬ事が、歴史をつくります。



梶川 成二 (34回生)

設立30周年おめでとうございます。柏葉会ゴルフ会に何度か参加させて頂き、大先輩方と楽しませていただきました。帰省時は地元同期と爆笑ゴルフを楽しんでいます。



山口 泰信 (23回生)

東京柏葉会開催の時期になると、前会長故 浦松敏和先輩に約50年前、一緒に下宿物件を見て回ってもらったり、草野球をしたことなどが懐かしく思い出されます。



中尾 芙紀子 (16回生)

高一の時、毎朝、南校正門のすぐそばにある貸本屋さんへ級友の澄江ちゃんを迎えに行く。彼女の支度時間は私の幸せ時間、店の漫画本を片端から読みまくりました！



須藤 菜穂子 (44回生)

東京の空の下で、皆さんわちゃわちゃと親戚のように接して下さって、故郷の縁とは不思議で温かく大切なものだなと。30周年、感謝とともに改めてとうございます。



八田 珠穂 (37回生)

同窓会の時間は再会の喜びや懐かし以上に「新しい発見」がたくさん！自分の事だけで精一杯だった高校時代が別の輝きを持ち、新しい緑もありました。



藤田 喜美子 (16回生)

波佐見からのバス通学、雪の日の思い出。途中で降るされ、バスを押した事がありました！やっと学校に着いたら一時間目は終わってた。大変だったけど懐かしい思い出です。



中尾 和美 (40回生)

年を重ねるほど、故郷のことが大切になる気がします。東京柏葉会が先輩方、私達、後輩達、みんなにとっての心の拠り所であられるよう温かく継続していきますように。



小池 泰男 (16回生)

昨年は、長兄・次兄は会場で、姉とは自宅からネットで参加し、楽しい時を共有できました。皆さんの工夫で、喜びの環がもっと大きく広がりますように期待しています。



山口 忠保 (20回生)

第20回記念の柏葉会で司会を担当。その時に多くの同期の友が集まり、旧交を温めることができました。以来、数人の同期生とは、今でも親交が続いています。柏葉会に感謝！



渡邊 三紀子 (16回生)

父の転勤で神奈川から佐世保へ、二年間の南校生活だったけど、その繋がりは思いも掛けない広がりを見せ、60年経った今も輝き続けている。一路久会是我的心の故郷です。



真辺 哲也 (31回生)

佐世保3校として受験して南校に入学。自由な校風にドップリ浸かった3年間、楽しかった。2年の時、1週間学校に来なくていいよと言われたのもいい思い出(笑)



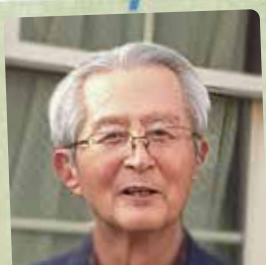
工藤 睦子 (16回生)

高校時代の青春の思い出は、陸上部で頑張ったこと。恩師のお陰です。夕日が沈むまで毎日グラウンドを全力で走りました。その思い出が人生の底力となっているようで感謝です。



富田 幸晴 (31回生)

東京柏葉会設立30周年おめでとうございます。幹事の皆様のご努力に敬意を表します。還暦を過ぎましたが元気です。同窓との語らいの場がいつまでも続くことを祈念します。



小池 寛治 (13回生)

私は本来、南高の12期生卒業予定でしたが、AFSの交換留学生として1958年から1年間米国に留学しました。その結果、残念ながら13期生卒業となりました。



平 伊佐夫 (23回生)

東京柏葉会には、第9回(1999年)から携わってきました。思い出の学舎の繋りは、独特の温かさがあります。これから、次世代へのバトンタッチに努めて参ります。



古賀 美由紀 (31回生)

高校の時とは62歳の自分が想像できんやっただけ意外と元気に過ごしています。同窓会には自分に良いタイミングで参加すればよかったかな。いつでもお待ちしておりますね。来てね！



南 康雄 (31回生)

東京柏葉会30周年おめでとうございます。本会でたくさんの先輩方、後輩、同級生達と素敵な出会いに恵まれました。これからも40年50年と続いていく事を祈念しています



土田 芳子 (13回生)

札幌、美しく快適な都市に移住して50年、最大の気がかりは厳しい豪雪期、道路対策は市とボランティアの対応で解決。五月、梅桜桜が一斉開花する百花繚乱の季節が待たれる



田辺 太志 (36回生)

30周年おめでとうございます。単身赴任先の札幌で4人の柏葉会を楽しんでいます。すすき野で佐世保弁のおしゃべりをしたい方、ぜひ東京の36回生までお声かけ下さい。

東京柏葉会賞の歩み

東京柏葉会賞は、佐世保南高等学校の在學生に対し、学内外での活動あるいは社会における活動において優れた業績を挙げた場合にこれを顕彰する目的で2012年7月の東京柏葉会総会決議を経て設置されました。その後、東京柏葉会賞の運営を行うために古賀勇副会長（20回生）を初代委員長として東京柏葉会賞委員会を設置し、2012年11月に委員会から規約等が発信されました。第1回目の表彰は、同窓会入会式が行われる2013年2月末（2012年度）に浦松敏和会長より行われ、柏葉をデザインした表彰盾と賞金を受賞者であるグループと個人に授与されました。



柏の葉をモチーフにした表彰盾

2013年以降は中山芳克副会長（37回生）を委員長とし、柏葉会本部の事務局のご協力を受けて毎年12月の募集から翌年2月末の表彰式までの運営が継続できております。なお、2019年度からは運営が定着したことから委員会を解散し、役員会メンバーによる審査と事務局による運営を行っており、2023年2月に11回目の表彰を行いました。加えて、2020年度からは、受賞者への一層の励みとなるように、書家の森奈緒子様（37回生）の書をデザインした表彰状に変更いたしました。



2020 年度

書をデザインした表彰状



2021 年度



2022 年度



2015 年度 浦松会長による授与式



2015 年度 浦松会長による表彰式



2017 年度 中山副会長による表彰式



2018 年度 池田会長による表彰式



2022 年度 池田会長による表彰式

なお、この東京柏葉会賞を支えていただいている活動として、2012年7月の総会時点から開始された会員皆様からの賛助金大変大きな力と支えとなっております。この賛助金の設立と運営には豊浦隆彦様（8回生）をはじめとして諸先輩の熱心なお力添えがあり、会員の皆様からの絶える事のないご支援につながっております。

柏葉の由来

柏：

ブナ化の落葉樹。1年の成長目的を終えた葉は、スケールを増して新しく生まれ変わり、活動を停止することはない。「葉守の神」が宿る木。植物の王様として尊ばれ、高い理想や夢をはらむ木である。校門をくぐり右手に位置し、校歌の2番に出てくる。

葉：

「佐世保」を象徴したもの

東京柏葉会ゴルフ同好会の紹介

東京柏葉会ゴルフ同好会のスタートは、佐世保南高校ラグビー部 OB 会が中心となり、発足しました。平成9年（1997年）にカメリアヒルズカントリークラブでの開催から始まり会場を代えて開催を続けてきました。最近、高齢者が増えたことありますが、参加人数が減少傾向にあります。これからは若い人に積極的に参加して頂き活性化を図りたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。

世話人：福田 寿（9回生）、今村勝義（15回生）、大廻和彦（31回生）

第2回～第26回の情報をお知らせします（第1回の記録なし）

開催回	開催日 西暦（和暦）	開催場所	参加者数	優勝者	（回生）
第2回	97.12.10（平成9年）	カメリアヒルズ カントリークラブ	17名	石本 宏志	7
第3回	98.10.06（平成10年）		27名	石本 宏志	7
第4回	99.10.06（平成11年）		29名	中山 敏己	9
第5回	00.09.27（平成12年）		39名	東島 忠	6
第6回	01.10.02（平成13年）		25名	大串 宣俊	21
第7回	02.10.02（平成14年）		20名	森 隆之	9
第8回	03.10.02（平成15年）	金乃台カントリークラブ	35名	尾崎 利夫	15
第9回	04.10.13（平成16年）	八千代 カントリークラブ （現、太平洋クラブ 八千代コース）	33名	尾崎 利夫	15
第10回	05.10.05（平成17年）		35名	原田 正美	10
第11回	06.10.12（平成18年）		39名	石倉 毅	7
第12回	07.10.11（平成19年）		31名	中山 敏己	9
第13回	08.10.01（平成20年）		31名	諸石 隆男	13
第14回	09.10.07（平成21年）		26名	尾崎 利夫	15
第15回	10.10.06（平成22年）		27名	友廣 幹夫	4
第16回	11.10.05（平成23年）		29名	友廣 幹夫	4
第17回	12.10.10（平成24年）		24名	川崎 賀成	12
第18回	13.10.10（平成25年）	総武カントリークラブ 印旛コース	39名	大平 憲明	17
第19回	14.10.10（平成26年）		37名	辻 健二	通21
第20回	15.10.09（平成27年）		28名	藤本 俊二	25
第21回	16.10.07（平成28年）	リバーサイド フェニックスGC	24名	友廣 幹夫	4
第22回	17.10.05（平成29年）		30名	今村 勝義	15
第23回	18.10.10（平成30年）		28名	大平 憲明	17
第24回	19.10.09（令和元年）		20名	藤本 俊二	25
第25回	21.10.08（令和3年）		16名	辻 健二	通21
第26回	22.10.22（令和4年）	大宮国際カントリークラブ	14名	山口 襄二	17

**今年の令和 5 年（2023 年）
東京柏葉会ゴルフコンペのご紹介**

10月11日（水）

**大宮国際カントリークラブで開催します。
皆様の奮ってのご参加をお願いします。**

お問合せ：今村勝義（15 回生）

TEL：090-2566-2177



東京柏葉会のホームページとSNSのご紹介

2003年から公開されたホームページは、東京柏葉会の活動状況や同期会情報等を広く会員様向けに情報発信し、加えて公式フェイスブックやインスタグラムと連携して母校や郷里佐世保に関する情報共有を通じて会員間のコミュニケーション活性化を目指しています。会員からの投稿も可能ですので、積極的にご活用をお願い致します。

東京柏葉会のホームページは、以下のページからご覧いただけます。

<http://www.hakuyoutyo.jp/>



公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/tokyohakuyoukai>



facebook



Instagram



公式インスタグラム

<https://www.instagram.com/tokyohakuyoukai/>



ホームページ メニューの紹介

【総会情報】

東京柏葉会総会のこれまでの開催レポートや写真が掲載されています。

【同期会】

同期会ごとの活動を紹介するページです

【倶楽部】

ゴルフ大会などクラブ活動のページです

【東京柏葉会賞】

在校生が活躍した活動を表彰するため、2012年に創設された東京柏葉会賞のページです。

【各地からの便り】

同窓会会員から投稿された各地の活動やレポートを掲載しています。

【役員会・事務局】

役員会や幹事会で協議した議事録等を公開しています。

佐世保南高校 東京柏葉会会則（2022年改訂）

第1章 総則

- 第1条 本会は、長崎県立佐世保南高等学校東京同窓会と称し、略称は「佐世保南高校東京柏葉会」とする。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、同窓会本部、各支部、及び関係諸団体と連携し、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 第3条 本会は、第2条で定めた目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 会員情報の維持・管理
 - (2) 母校の教育事業の援助
 - (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 第4条 本会は、事務局を東京都または周辺の県に置く。

第2章 会員

- 第5条 本会は、原則として長崎県立佐世保南高等学校の卒業生及び、これに準ずる者で、関東並びに中京以東に在住する者をもって組織する。但し、会員として不適格と判断された会員は、本会から除名する事が出来る。
- 第6条 本会の会員は、入会時・退会時並びに、住所変更時には年次幹事、または東京柏葉会事務局に適宜連絡しなければならない。また、別に定める金額の年会費を納めなければならない。

第3章 役職

- 第7条 本会には、次の役職を置く。
- 会長1名、副会長若干名、幹事長1名、副幹事長若干名、事務局長1名、副事務局長若干名、会計、監事、顧問、参与、年次幹事を置く。
- 第8条 年次幹事は原則として各卒業年次の代表男女各1名とし、会長が委嘱する。また、会長が必要と認めた時は、この他に年次幹事を指名委嘱できる。
- 年次幹事は幹事会に会員の意向を具申するとともに、本会会議の決定事項を各年次会員に周知させる。
- 第9条 本会には役員として会長、副会長若干名、幹事長、副幹事長若干名、事務局長、副事務局長若干名、会計、監事を置く。
- 役員は、会員の中から幹事会が推薦し、総会の承認を得て決定する。
- 第10条 役員は次の会務を行う。
- (1) 会長：本会を代表し、会務の全体統括を行う。
 - (2) 副会長：会長を補佐し、会長が支障ある時はその職務を代行する。また、会長の補佐として会務における役割を分担しそれを統括する。
 - (3) 幹事長：幹事会を主宰し、その運営を統括するとともに、併せて本会会務を記録・管理する。また、総会にて会務報告を行う。
 - (4) 副幹事長：幹事長を補佐する。
 - (5) 事務局長：本会の事務を統括する。
 - (6) 副事務局長：事務局長を補佐する。
 - (7) 会計：本会の会計事務一切を管理する。
 - (8) 監事：本会の会計事務一切を監査する。
- 第11条 役員の任期は7月～翌年6月を活動年度とし2年間とする。但し再任を妨げない。
- また、役員は任期満了前に改選し、次期役員を選出する。
- 第12条 役員に欠員が生じた時は、幹事会の承認を得て補充する。この場合の任期は前任者の残任期間とする。
- 第13条 役員は原則、年次幹事を兼務するものとする。
- 第14条 本会には必要に応じ、幹事会の承認を得て若干名の顧問、参与を置く。
- 歴代会長を顧問とし、顧問は本会の重要事項に関して諮問に応じる。参与は会員の中から会長が委嘱し、会務の運営に関して会長の諮問に応じる。
- また、顧問、参与は原則、年次幹事を兼務するものとする。

第4章 会議

- 第15条 本会の会議は、総会、役員会、幹事会とする。
- 本会の会議における決議は、全ての出席者の過半数の賛成を必要とする。
- 第16条 総会は本会の最高議決機関であり、1年に1回会長が召集する。
- 但し、会長が必要と認めたときは、年次幹事の過半数の承認（委任含む）を得て臨時総会を開くことが出来る。
- 第17条 総会は、会務報告、会計報告並びに会計監査報告の他、会則変更など最重要事項を審議し決定する。総会には会員が出席する。
- 第18条 総会の議長は会長とする。
- 第19条 会務運営の円滑化を図るため、会長は役員会を随時開催し、会運営に関する基本方針を審議する。役員会には会長、副会長、幹事長、副幹事長、事務局長、副事務局長、会計、監事が出席する。但し、必要に応じて、顧問、参与、年次幹事が出席する。
- 出席者は、議題の内容及び重要度に応じて、会長が適宜召集する。
- 第20条 役員会での審議事項は幹事会に諮ることとする。
- 第21条 幹事会は、次の場合に会長が招集し、役員、年次幹事が出席する。尚、必要に応じて会員も出席出来ることとする。
- (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 過半数の年次幹事から要求があったとき
- 第22条 幹事会は下記の目的で実施する。
- (1) 役員会の審議事項の承認
 - (2) 会員情報の維持管理、会員の獲得
 - (3) 母校の教育事業の支援方策の検討
 - (4) 本会の運営に関わる事項の具体的検討・決定
 - (5) 各年次の年次幹事間の親睦

第5章 委員会

- 第23条 本会は、必要に応じて幹事会の承認を得て、委員会を設置する。委員会の委員は会長が指名し、委員は活動内容を幹事会で報告する。
- 第24条 次の委員会を設置する。
- (1) 広報委員会
 - (2) 東京柏葉会賞委員会委員会の会則及び運営要綱は各委員会に定める。

第6章 会計

- 第25条 本会の運営に関わる費用は、年会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。
- 会計担当は、年度予算計画を起案し幹事会にて承認後、執行するものとし、監事による会計監査を1年に1回受けなければならない。
- 第26条 本会の会計年度は、1月1日より12月31日までとする。

第7章 付則

- 第27条 本会則は、平成3年1月1日より発効する。
- 本会則の解釈についての疑義が生じたときは、幹事会において審議・解決する。
- 第28条 本会則は、平成12年7月8日改定し施行する。
- 第29条 本会則は、平成13年9月22日改定し施行する。
- 第30条 本会則は、平成28年6月25日改定し施行する。
- 第31条 本会則は、平成30年7月1日改定し施行する。
- 第32条 本会則は、2022年（令和4年）7月23日改定し施行する。

＊42～55 ページは会員名簿を記載しています。

関東地区在住の会員情報収集にご協力をお願いいたします。

事務局



旧制佐世保中学校からの歴史と伝統を繋ぐ佐世保南高校

「校史資料室」写真より





体育祭ファイヤーストーム 1974年(昭和49年)

校内の風景



2010（平成22年）～2021（令和3年）主な佐世保の変革

2010年（平成22年）

3月20日：西九州自動車道佐世保みなとIC～相浦中里IC間供用開始。

10月1日：佐世保市総合教育センターが旧市立保立小学校跡地に開館。

2011年（平成23年）

4月1日：佐世保市亜熱帯動植物園を西海国立公園九十九島動植物園に改称。

9月13日：西九州自動車道相浦中里IC～佐々IC間供用開始。市内区間が全通。

2012年（平成24年）

10月25日：第10回全国和牛能力共進会「和牛の祭典 in ながさき」開催。

2013年（平成25年）

11月2日：三ヶ町商店街の再開発ビル「サンクル」のオープニングセレモニー。

11月29日：新港町に市中心部としては初の大型商業施設「させば五番街」が開業。

2014年（平成26年）

10月13日：第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）開催。

2015年（平成27年）

4月1日：佐世保港国際ターミナル（葉港テラス）供用開始。

4月1日：九十九島動植物園を指定管理者管理へ移行。

2016年（平成28年）

4月1日：中核市へ移行。

4月25日：「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」(佐世保市内の旧大日本帝国海軍に関する近代化遺産を含む)と、三川内焼を含めた「日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～」が日本遺産として文化庁より認定を受ける。

2018年（平成30年）

1月29日：長崎県民信用組合と佐世保中央信用組合が合併、西海みずき信用組合発足。

3月27日：陸上自衛隊相浦駐屯地に水陸機動団が編成。

4月20日：九十九島の世界で最も美しい湾クラブへの加盟が承認される。

6月30日：「黒島の集落」を含む長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が、第42回世界遺産委員会にて世界遺産（文化遺産）への登録決定される。

2019年（平成31年）

1月12日：西九州させば広域都市圏の連携協約締結式を実施。

3月23日：佐世保市交通局の路線バス運行を終了、西肥自動車と同社から受託するさせばバスによる運行へ一本化。

2019年（令和元年）

8月27日：江迎川が氾濫。江迎地区に避難指示、同地区を除く市内全域に避難勧告が出される。

12月28日：名切地区の再開発事業に伴い、佐世保市交通公園が閉園。

2020 年（令和 2 年）

- 2 月 26 日：針尾島の江上交差点が暫定立体化。
- 8 月 4 日：針尾島の浦頭地区に国際ターミナルの佐世保クルーズセンターが完成。
- 10 月 1 日：親和銀行が、ふくおかフィナンシャルグループの傘下である十八銀行（長崎市）と合併、十八親和銀行が発足。
- 12 月 1 日：長崎県警察佐世保警察署（天満町）が同相浦警察署と統合。佐世保市民会館跡地（花園町）への移転する方針を発表。

2021 年（令和 3 年）

- 2 月 12 日：佐世保重工業（SSK）が新造船事業の休止を発表。
- 2 月 23 日：世界遺産である黒島天主堂の修復工事完了。
- 3 月 4 日：在日米軍崎辺海軍補助施設（崎辺地区東側）が佐世保市に返還。
- 3 月 22 日：佐世保玉屋一带の再開発事業「栄・湊地区市街地再開発準備組合」が発足。
- 3 月 28 日：俵ヶ浦半島に九十九島観光公園（野崎町）が開園。
- 4 月 28 日：「福井洞窟」の博物館、福井洞窟ミュージアムが開館。



設立 30 周年記念誌 「編集後記」

設立 30 周年を迎え、本来ならば 2020 年度に発刊する記念誌も想定外での新型コロナウィルス感染問題が全世界で発生し、東京柏葉会の活動そのものも休止を余儀なくされました。

今回、3 年間の活動休止を経て記念誌を企画・発行が出来たことに安堵するとともに寄稿をお寄せいただいた皆様や、度重なるリモート編集会議に参加して頂いた記念誌委員会委員の皆様の東京柏葉会に対する熱意の賜物と感謝申し上げます。

前述の通り、今回の記念誌はすべてリモート会議やメール等の活用を主体に編集いたしました。総力でご尽力いただいたすべての関係者には大変ご苦勞をお掛けしました。

ここに、そのご協力ご支援に対して謹んで敬意を表します。

令和 5 年 5 月吉日
編集委員長

編集委員（敬称略）	
委員長	池田 康人（21 回生）
委員	今村 勝義（15 回生）
委員	前山 廣司（21 回生）
委員	平 伊佐夫（23 回生）
委員	緒方 千草（26 回生）
委員	大滝 理恵子（31 回生）
委員	八並 真由美（31 回生）
委員	川口 尊明（33 回生）
委員	川口 克彦（36 回生）
委員	古川 まゆみ（36 回生）
委員	中山 芳克（37 回生）
委員	伊原 寛隆（38 回生）
委員	中尾 和美（40 回生）
委員	萩坂 拓也（51 回生）

校歌

作詞：校歌制定委員会
作曲：下総皖一

鳥帽子が岳の 峰遠く
湧きて流るる 青雲に
光を慕ふ 若人の
理想は高し 南高
柏の緑 風かをり
萌ゆる丘辺の 若草や
春秋ここに 三星霜
真と愛とを 織りなさん
希望の港 空蒼く
天路はるかに 大鳳の
自由の翼 翔くるとき
校風ここに いや増さん

第一応援歌

草木ヶ原に 永久の鐘
円かなる夢 覚め見れば
桜に映ゆる 春なれや
何時しか過ぎて 紅の
紅葉映ろう 学舎に
ページを繰りて 早三年
あわれ若人 太平の
甘き迷夢に 耽ける時
悲風地を捲き おそい来て
竜馬の蹄 高らかに
健児一千 中原に
鹿を逐うべき 秋は来ぬ
えんえん燃え立つ 若人の
高鳴る血汐 胸に秘め
健軍二十里 南浜に
勇み奮いて 進み行く
自在の威力 茲に得て
闘わんかな 秋到る



佐世保南高校 校歌・応援歌CD販売

同窓会作成の校歌・応援歌(第1～第4)のCDを販売しています。購入希望の方は、
代金 1,000円と送料として切手100円分を同封し、同窓会事務局までお申込ください。

【収録内容】 01:校歌Ⅰ(女性重唱+ピアノ伴奏) 02:校歌Ⅱ(吹奏楽) 03:第1応援歌
04:第2応援歌 05:第3応援歌 06:第4応援歌

【申込先】 〒857-1151 長崎県佐世保市日宇町2526番地 長崎県立佐世保南高校 同窓会事務局